

# 株式会社 東京海上日動パートナーズ東北



- 本社所在地 宮城県仙台市宮城野区榴岡 3-4-18  
オークツリー榴岡 3F
- 主な事業内容 損害保険代理業、  
生命保険の募集に関する業務
- 従業員数 191人 (派遣社員含む)

健康経営優良法人認定 2018～2023 認定  
(2023はブライツ500)



## 健康経営に取り組むきっかけ

当社は東北6県に全19支社を構えていることから、健診等が各々の方法で実施され、会社としての統率が取れていない状態でした。しかしながら、社員が心身ともに健康であることがお客様からの信頼の基盤であると考え、『健康経営』に取り組み始めました。本社で一括して健康づくりを推進する体制を整え、全拠点に健康づくり担当者を置き、2018年からは本社担当者から社員に対して、健康経営の指針や健康づくりに関する情報を月1～2回の頻度で発信するなど、独自の取組を開始しました。



認定証

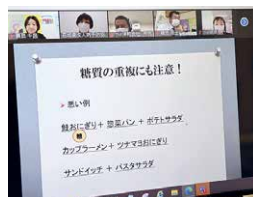
## 注力している取り組み

社員の健康課題を把握するため、アンケートを実施したところ78%の社員が「運動不足」と認識していたため、2020年から毎年10～11月を健康増進月間と定め、『みちのく健活プロジェクト』と題した健康増進プログラムをスタートしました。コロナ禍でもあり、従業員用のオンラインシステムで、実践した活動内容を共有することにしました。例えば、津軽支社では「朝礼時にラジオ体操」をしたり、本社では3階の事務所まで階段を使う『ツアアップスリーダウン運動』という様に、社員自身が立てた目標を2か月間実践するものです。それぞれの取組を宣言することで、運動不足を楽しみながら解消し、社内のワーク・エンゲージメントにも繋がると考えます。

また、協会けんぽの『出前健康づくり講座』をいち早く取り入れ、成人病予防協会の講師によるランチセミナーを実施。各拠点をオンラインで結び、お弁当を食べながら、「バランスのとれたコンビニ食料品の選び方」など食習慣の改善を学びました。ランチタイムを活用したという点も含め、社員に大変好評でした。

エレベーターを使用しない！  
3/パット禁止条例  
・1日8000歩★徒歩で東北最南端を目指し  
仕事終了後の甘い飲み物をやめる  
体重を8.5キロ台にする（現在8.8キロ）  
会社と自宅の往復で、エレベーター、エ  
スカーの使用を禁止し、体力UPを目指し  
ます！！  
本社がある3階までエレベーターではなく  
上り降りし、ます。

みちのく健活プロジェクト



オンライン健康づくり講座

## 取り組みの課題

拠点数が多いことも影響しているのか、当社の「健康づくりへの取組」

の認知度や参加率にバラつきがあることが課題でした。

そこで、多くの社員に積極的に取り組んでもらうために年に1回アンケートを取り、社員の意見を取組に反映させることにしました。取組に参加したことで得られた効果を確認したり、個人ではなくグループで参加できるイベントを企画してほしいなどの要望を取り入れました。

アンケートの結果も社員に共有することで健康意識の向上につながり、取組の参加率も年々上がってきています。

## 取り組みの効果

各支社ごとに各々の方法で行われなかなかり組めていなかった特定保健指導も本社から支社へのスキームづくりで実施率が改善され、ストレスチェックも本社主導で実施できています。今では本社からの一方通行だけではなく、支社で活動を牽引してくれる人材も出始め、社員同士のコミュニケーションも深まったと思います。

また、2020年からインフルエンザワクチン接種費用の一部を、2019年から子宮頸がん検診、乳がん検診の費用を全額負担しています。以前の婦人科検診の受診率は50%に満たない割合でしたが、現在は75%となり、効果が出ていると思います。

さらに、ここ数年で『健康経営優良法人』を知っている就活生が増えたと感じます。会社説明会の際に「この認定を受けている会社はいい会社だからと母が勧めてくれた」という生の声を聞きました。健康経営への継続的な取組が、企業の評価に繋がっていると実感しています。



社内システム上で健康情報を発信

## 今後の展望をお聞きしました！

『健康経営』を推進することは、生産性の向上、優秀な人材の確保、離職率の低下、企業のイメージアップなど、様々なメリットがあります。

この『健康経営』を自社だけではなく、社外にも広げていくことが重要と考えています。『健康経営』の範囲を取引先や周辺地域など社会全体に広げるために、これまで取り組んできた自社での事例や『健康経営優良法人』認定の経験を発信していきたいです。



代表取締役  
浦上正人氏